

<発言者>

<項目・内容>

委員長

1 公安委員長挨拶

「7月23日に開会式が行われた東京オリンピックも中盤を過ぎた。日本の選手は若手の活躍が目立つ。大変素晴らしいことである。山陰出身者もボクシング女子フェザー級の入江選手、陸上男子3000メートル障害の三浦選手などが躍動する姿を見た。何よりも本人の努力によって結実したと思うが、若手の活躍の背景には両親を始め本人の周囲の支援もあると思う。幼少から指導を受け、成人になるころには既に10数年のキャリアがある。その間、本人は考える力・学ぶ力を身に付けていく。我々の仕事の場では、この考える力・学ぶ力をどう身に付けさせていくべきだろうか。基礎学力を有して卒業した者であっても、受入体制の適否が力の伸びに影響を及ぼすと思う。まずは基礎指導をし、早期に仕事を覚えさせる必要がある。しかし、『経験を積む』ということだけでは、すぐにはできない。誰しも年齢を重ね、年代に応じた経験をし、五感を駆使して問題解決能力を積み上げていく。それらを部下に話して聞かせ、指導し、自らに代わって部下に動いてもらうことが必要だ。ここにおられる皆さんも、第一線で自ら行動し、経験を重ねてこられた。培われた知恵と勇気を部下に示して、指導してほしい。」旨の発言があった。

2 報告

(1) 令和3年上半期重点目標推進状況

警察本部

「生活安全部では、重点目標に『子供・女性・高齢者の安全安心の確保』を掲げ、各種対策等を推進している。上半期の情勢は、人身安全関連事案認知件数が239件、特殊詐欺被害認知件数が30件、未然防止は38件であった。主な取組は、ストーカー事案における検挙7件、禁止命令9件、組織的対応や改正ストーカー規制法の周知のための執務資料の発出、ワクチン接種会場における広報啓発、コンビニストア店舗等への警戒と協力依頼、未然防止に対する謝礼品交付32件、自動車警ら隊発足に伴う対処能力の強化、強盗被疑者等の職質検挙、職務質問技能指導者等記章のデザイン刷新であった。下半期は、人身安全関連事案に対する迅速・的確かつ組織的な対応の推進、子供・女性の安全を確保するための諸対策の推進、高齢者被害を始めとする特殊詐欺被害防止対策の推進、的確な犯罪情勢の分析による効果的な犯罪抑止対策

の推進、非行少年を生まない社会づくりの推進、児童ポルノ事犯を始めとする悪質性の高い福祉犯の取締り、生活経済事犯及び生活環境を守るための各種法令違反事件の取締り、適正捜査推進のための事件指導と若手捜査員の育成、職務質問を始めとする積極的な街頭活動の強化、迅速・的確な初動警察活動の推進と新通信指令システムの構築、交番・駐在所等の安全対策の強化に取り組む。」旨の報告があった。令和3年上半期重点目標推進状況について報告があった。

警 察 本 部

「島根県警察では、重点目標に『行政機関・民間事業者を狙ったサイバー攻撃等への対処』を掲げ各種対策等を推進している。上半期の情勢は不正アクセスやコンピュータ・ウイルス、クレジットカード犯罪被害など財産被害に直結する事案の相談が増加、検挙54件、ウイルスサポート詐欺被害9件であった。上半期の主な取組は、サイバー攻撃等に対する捜査の推進、重要インフラ事業者に対する攻撃対策の推進、先端企業のフォレンジック・トレーニングをオンライン形式で受講、特別研修制度に基づく特別研修生の指定、セキュリティ意識向上への取組、サイバー防犯ボランティアの拡充であった。下半期の取組方針は、被害の未然防止対策の推進、サイバー攻撃等に対する捜査の推進、サイバー犯罪等対処能力検定の実施等による職員の対処能力の底上げと中核的捜査員の育成、捜査支援への取組、サイバー防犯ボランティア等と連携した諸対策の推進、島根県中小企業サイバーセキュリティ支援ネットワークの活性化である。」旨の報告があった。

警 察 本 部

「刑事部では、重点目標に『凶悪な犯罪等の検挙と組織犯罪対策の推進』を掲げ各種対策等を推進している。上半期の情勢は、刑法犯認知件数875件、検挙率70.4%、重要犯罪の認知件数15件、検挙率120%であった。上半期の主な取組は、捜査本部設置事件捜査の推進、中古釣具店における持凶器強盗事件の検挙、他人の個人情報悪用した広域払出盗事件の検挙、副業あっせん名目の架空請求詐欺事件の検挙、持続化給付金詐欺事件の検挙、松江・出雲市長選挙等に対する違反取締り、暴力団犯罪8人、薬物14人検挙、特定抗争指定暴力団等の指定、暴力団構成員に対する中止命令、証拠品管理システムの運用開始、捜査インフラの整備と科学技術の活用、囑託警察犬と連携した活動の推進であった。下半期の重点取組は、衆議院議員総選挙等に向けた違反取締りの強化、指定暴力団六代目山口組傘下組織の集中取締りと薬物対策の推進、特殊事件に対する初動対応能力の向上である。」旨の報告があった。

警 察 本 部

「交通部では、重点目標に『高齢者を重点とした交通事故防止対策の推進』を掲げ各種対策等を推進している。上半期の情勢は、去年同期と比較し交通事故死者数は減少しているものの、交通事故発生件数・負傷者数は微増、高齢者死者の構成率は25%であるが、高齢者が関係する事故は46%と大幅に増加等である。上半期の主な取組は、自転車ヘルメット着用促進モニター事業の実施、県交通安全協会と連携したヘルメット購入費用の助成事業、県警初となる妨害運転の検挙、運転免許取消し処分による交通社会からの早期排除、反則金の納付方法の拡大である。下半期の取組方針は、関係機関・団体と連携した夕暮れ時や夜間の交通事故防止に向けた広報啓発活動、交通事故実態を反映した効果的な街頭活動の推進、悪質・危険性の高い交通違反の検挙、否認事件・背後責任の追及、通学路の交通安全対策の推進、プローブ情報を活用した交通管制への取組、住民の立場に立った運転免許行政の推進、新運転者管理システムの整備に向けた諸準備である。」旨の報告があった。

警 察 本 部

「警備部では、重点目標に『テロの未然防止と災害等への対処』を掲げ各種対策等を推進している。上半期の情勢は、オリンピック聖火リレー及び第71回全国植樹祭の開催、テロの脅威の継続、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大である。上半期の主な取組は、第71回全国植樹祭に伴う警衛諸対策の推進、聖火リレー警備の完遂、各種管理者対策、訓練、広報活動等によるテロ未然防止対策の推進、新型コロナウイルス感染対策の継続的な推進、オリンピック等派遣や出水期を見据えた各種訓練等の推進である。下半期に向けた取組方針はオリンピック・パラリンピックの開催に伴う警備諸対策の推進、浜田港等における水際対策訓練、ドラッグストアやホームセンター等に対する体験型講習を取り入れた管理者対策の推進、機動隊専門部隊によるテロ対処能力向上訓練の実施、複合災害を想定した図上訓練等の実施、警察庁指定広域技能指導官の招へいや航空隊と連携した実践的な救助訓練等の実施である。」旨の報告があった。

警 察 本 部

「警務部では、重点目標に『新たな時代に対応した警察組織の確立』を掲げ各種対策等を推進している。上半期の主な取組は、犯罪被害者支援制度の拡充と効果的運用、ワークライフバランスの推進、警察行政手続サイトの運用開始、警察情報の効果的発信、新型コロナウイルス感染症対策であった。新たな制度の身体犯被害にかかる初回診察料公費負担は2件、年次有給休暇の年間平均取得日数は13.3日、男性職員の育児休業取得率は13.6%であ

った。下半期に向けた取組方針は、警察署協議会の提言等への適切な対応、リカバリー教養の更なる推進、宿直終了日の半日勤務制度導入によるワークライフバランスの推進、警察庁共通基盤システムへの移行に向けた取組、リクルーター指名制度の活用による採用募集活動の強化、出雲警察署整備事業、駐在所の整備推進である。」旨の報告があった。

委員 [意見]「サイバー犯罪は身近な問題である。私の携帯電話にも不審なメールが届くことがある。こういったメールについては開かないような指導を行ってほしい。飲酒運転については、コロナ禍によって家飲みが増えているが、酒が好きな人は酒がなくなれば店にでも車を運転して買いに行くことも予想されるので、一層の取締りを行ってほしい。時代に即応した組織づくりとして何が必要で何が不要かを見極めて、地域の安全安心を守ってほしい。記憶に残るようなキャッチフレーズをつくって未来の新体制をつくってほしい。」

委員 [意見]「上半期の検証を行って下半期の取組に活かすことは良いことだと思う。先日は立てこもり訓練を視察したが機敏な態度で頼もしかった。」

委員 [意見]「サイバーについては、高齢者が被害者になることも多いので、高齢者対策が重要であると感じた。職務質問技能向上に取り組んで、職務質問が検挙に繋がったことは素晴らしい。技能向上については今後も推進してほしい。警察官一人一人が精神的に安定しているからこそ県民を守ることができる。ワークライフバランスを推進してほしい。先日、立てこもり訓練を視察した。訓練自体厳しいものだったが、そのレベルに至るまでの訓練も相当厳しいものだと思う。継続して訓練を行ってほしい。」

(2) 交通安全意識に関するアンケート実施結果

警察本部

「令和3年3月30日から5月31日までの間、自転車ヘルメット着用促進モニター事業を実施した。目的はヘルメット着用等に関する意見を把握し、今後、全年齢層の自転車利用者のヘルメット着用促進に向けた施策に反映するためである。主なアンケート結果として、ヘルメット非着用の理由は、必要性を感じない49%、着用が面倒27%であり、高校生モニターの今後の着用意向は着用したくない80%、保護者の意見としては本人の意思に任せるが75%であった。今後の方策は、自転車事故の危険性とヘルメット着用の重要性についての広報啓発、全年齢層の自転車利用者のヘルメット着用に向けた関係機関・団体等との連携、モニター事業の継

続・拡大である。令和3年6月14日から6月23日までの間、しまねwebモニター調査を実施した。目的は、飲酒運転等に関する意見を把握した上で各種警察活動の参考とするためである。主なアンケート結果として、飲酒運転がなくなる方策は、罰則を強化する66.7%、飲酒運転をしない意識を持つ52.2%、取締りを強化する49.9%、なくならない20.6%であった。自転車ヘルメットを着用しない理由は、着用義務がないから46.4%、ヘルメットを持っていないから44.3%、面倒だから30.7%、周りで着用している人がいない25.7%であった。島根県内の全般的な交通マナーについては、どちらかといえば良い60.2%、どちらかといえば悪い18.1%であった。今後の方策は、飲酒運転を許さない社会環境づくりに向けた関係機関・団体等との連携、交通ルール・マナーに関する継続的な広報啓発、継続的な交通指導取締りである。」旨の報告があった。

警 察 本 部

〔説明〕「本年、交通の方法に関する教則の中で、初めて全世代の方に対してのヘルメット着用が明記された。しかし、中学生までは校則によってヘルメットを着用しているが、高校生になるとヘルメットを着用しないのが現状である。アンケート結果ではヘルメットを購入するお金がもったいないが7.1%なので、ヘルメット非着用の理由がお金ではないと言える。アンケートの自由記載では着用率を上げるには、学校でのルール化、ヘルメットを格好良くする、子供の頃から着用するようにする等の意見があった。また、保護者からは、学校で義務化すれば着用するようになるという意見があった。」旨の報告があった。

委

員

〔意見〕「高校生のヘルメット非着用に限らず、自転車の二人乗りについても、一般の人が注意しても聞かないのが現状である。工事現場ではヘルメットの着用が義務化されており、非着用の場合は労災保険が適用されない可能性もある。自転車のヘルメットについても罰則がないから着用しないのであって、制度を整える必要がある。」

委

員

〔意見〕「中学校ではヘルメット着用が校則で義務化されているが、高校生は体裁を気にして着用しない。高校の校則で義務化しないと着用しないと思う。また、ヘルメットのデザインについても、おしゃれな物があれば着用すると思う。」

委

員

〔意見〕「全世代のヘルメット着用は、努力義務であって義務ではない。そこが問題であって、周囲の人が着用していれば自然と着用するようになるのではないか。学校で義務化しても、学生は『大人が着用しないのに、なぜ着用しないといけないのか』と

素朴な疑問を抱く。学校にルール作りを任せるのではなく、国の方針をどうやって学校や生徒に伝えていくかが大切である。ヘルメットを着用することが安全に繋がるという実感を持たせることが難しいので、高校生だけに的を絞るのではなく、子供の頃からの教育や社会全体の雰囲気づくりが大切だと思う。」

(3) サイバー攻撃対策推進状況

警 察 本 部

サイバー攻撃対策推進状況について報告があった。

3 その他報告事項

警 察 本 部

「ドライブコンテストは前取組を含め平成10年に始まり今年で23年目を迎える。昨年は免許人口の5.2%、7,815チーム、23,444人の参加があった。今年は7月30日現在で免許人口の5.2%、7,922チーム、23,766人と過去最高の参加人数となっている。」旨の報告があった。

4 総括

「本日、上半期の重点目標推進状況について報告申し上げた。生活安全部門については、人身安全関連事案の取扱いには気を遣っているところ、引き続きしっかりやってまいりたい。刑事部門については、先般地検の方と会った際、島根の事件捜査は非常に丁寧にきちっとやってもらっていると高く評価しておられた。引き続きち密な捜査を推進してまいりたい。交通部門については、県内では本日現在5名の方が交通事故によりお亡くなりになっておられる。県民の方々の御協力も得てしっかりとやってまいりたい。警備部門については、先般の大雨災害の際、自治体の対応がいかがなものかという県民の声がいくつかの箇所であったと聞いている。警察に対して信頼を寄せてもらえるよう、有事の際にはしっかりと対応してまいりたい。サイバー関連については、今回警察署協議会への共通諮問事項にも取り上げることとなっている。情報通信部とも連携してしっかりとやってまいりたい。警務部門については、各部で共通する業務を横串を刺しながら進めていくものが多い。採用活動を含め、下半期も警務部長の下でしっかりとやってまいりたい。」旨の発言があった。